

# 公益財団法人中山隼雄科学技術文化財団

## 団体情報

代表者 (代表理事・理事長) 中山 晴喜

住 所 〒104-0061 東京都中央区銀座三丁目 15 番 8 号 銀座プラザビル 6 階

WEB サイト URL <http://www.nakayama-zaidan.or.jp/>

「人間文化は遊びのなかにおいて遊びとして発生し、発展してきた」(ホイジンガ「ホルムーデンス」)とも言われているように、“遊び”は本来人間文化に大きな係わりを持ってまいりました。わが国が高度に発展させてきた科学技術を、“遊び”をキーワードとする新しい文化のパラダイムへと昇華させ、これによって国際社会における摩擦を減少させ、心身共に健康な個人と、豊かで活力ある社会を築き上げることこそ、今後共わが国が課せられている大きな使命と言えましょう。



中山隼雄名誉会長

当会の発起人会挨拶で中山隼雄名誉会長(当時は理事長)は、自身が米国との貿易会社を一から立ち上げ、徐々に規模を拡大していったことを述べております。

その中で、いわゆるゲームセンターと呼ばれていた施設がアミューズメントセン

ターへと様変わりしてきたこと。それと共に“遊び”の重要性を認識するようになり、コンピュータゲームが特に子供にとっては与え方により健全な、しかも脳機能の高度な発達に極めて重要であり、又高齢者にとってもいつまでも若く、活力を保つ源泉として、益々大切であることに気付かされたことを強調しています。

中山隼雄氏は、その後セガサミーグループ社長としてコンピュータゲームソフトの製造販売会社を業界の一方の雄に押し上げ、又、パソナグループを会長として人材派遣のリーディングカンパニーへと育成するなど、実業家としても大きな成功を収めました。

当財団は、同氏がセガサミーの株式 200 億円分と現金 6 億円を全額個人で拠出して設立したものであり、当時としては珍しい規模の大型財団でした。

同氏は、第一線を退いてからも、培ってきたゲーム事業・人材事業・IT 事業分野における豊富な経験と鋭い先見性により、保有する資金を提供して、若手経営者の育成と企業価値の増大を支援しています。